



はなのき通信

2023年10月 発行 第155号

編集・発行：あいち国際交流はなのき会

URL <http://www.aichinet.ne.jp/~hananoki/>

Eメール hananoki@aichinet.ne.jp



スタディーツアー再開に寄せて

副会長 渡辺順子

3年半もの長きに亘り世界中で猛威を振るってきた新型コロナウイルス感染症は、わが国では5月の連休明けから、季節性インフルエンザなどと同じ5類感染症に移行し、WHOも緊急事態宣言を解除しました。しかし、まだまだ油断はできない感染状況です。あいち国際交流はなのき会もスタディーツアーの中止を余儀なくされていましたが、今年度再開されることになりました。現在、着々と準備が進められています。元々、はなのき会は愛知県主催の海外派遣を経験した方達で組織された団体です。

実際に海外現地に赴き、目で見て肌で感じ取ったものが宝となり財産となります。入会以来30数年経過しましたが、海外研修に寄せる想いは少しも変わらず、これからも色々な方との出会いを通して学び、吸収していくことを実践しようと考えている昨今です。

スタディーツアー

主体的に学ぶ

「シンガポール・グリーンプラン2030」から

会長 金田文子

はなのき会事業の最たる特長は、海外現地でのスタディーツアーだと捉えています。再開に際しては、不穏な世界情勢を念頭に置き、現地に知り合いがある安全な国に、できるだけ短期間に、経費があまり嵩まないように等の協議の末、シンガポールを選定したものの、円安が渡航・滞在費に影響し痛手です。

しかし、11名の参加者は前向きな方ばかり。主体的な学びを地域やネット検索で進め、情報共有を対面とSNS上で重ねています。10月25日現地着、10月29日帰国の予定で出かけます。

シンガポールは観光目的で多くの方が経験しているところですが、金融、経済、都市計画、自然保護、環境政策、教育等、多面的でバランスの取れた変容を続けているように見えます。今やASEAN諸国のビジネスの中心地としてだけでなく、グローバル統括拠点として世界中の企業から注目され、日本企業も約5,000社が拠点を置き、日本からの移住者は36,797人を数えます。東京23区をひと回り大きくしただけの小さな島国で持続可能な暮らしができるのかしらと疑念も湧いてきます。

そこで私は、持続可能な社会の実現を目指している「シンガポール・グリーンプラン2030」に盛り込まれた主な目標に着目して、実際の状況を見てきたいと考えています。

主な見学先(予定) 日本大使館、ジャパングリエイティブセンター、日本人会、日本人墓地(音吉さん墓参)、マリーナバレージ、ガーデンズバイザベイ、ラッフルズホテル、市内観光(多文化社会・環境政策など)



講師：吉枝道生氏（中日新聞編集局次長）

日時：6月17日（土）

場所：安城市民交流センター

担当：西三河ブロック 後援：安城市 参加者数 約72名

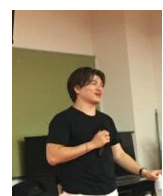
西三河ブロック担当のセミナーとして2月から企画し、講師の依頼を中日新聞教育支援事務局長から個人的に吉枝氏に掛けてもらい、快く引き受けていただいた。当日は大勢の参加で熱心に視聴された。



『世界の表と裏』—25か国取材した吉枝氏だからこそ見えた様々な国の表と裏・光と陰を画像と共に具体的に話をしていただいた。例えばチラシに載せたタイの国の写真、私たちは「微笑みの国」「平和の国」というイメージを持つが、実際はクーデターが多く2010年の新政府を倒す争乱では何万人もの犠牲を出している。また、世界の中心とも言えるニューヨークでは、マリオの着ぐるみを着た不法移民が、生きていくために仕事としている。2000万人もの不法移民を抱えるアメリカの影の部分、私たちはほんの一部しか見ていないことに気づかされた。吉枝氏は、同時多発テロの取材としてアフガニスタンへ、またフィリピンのミンダナオ島へ内戦取材も赴いた。戦争取材は軍と国民や避難民の両面からの話を聞き、執筆されたという。「戦争は文化を失う」—少数民族によって守られてきた伝統文化財も人も無くしてしまう。聞いている私たちには心に沁みる言葉のように感じた。ディズニーの「世界は一つ」—それは本当でしょうか？分かんないこと、表と裏、ものの見方は両方持っていることが必要であるという言葉で締めくくられた。海外取材を通して実際の諸外国の事情から、実に多くのことを学べる講演であった。

西三河ブロック 小鹿登美

学習会



Why Japanese people!? 今日のおかずは「キャッシュカード」

講師：谷口たかひさ氏（環境活動家）

日時：7月20日（木）

場所：常滑市民交流センター

「あなたもプラスチックを食べています。1週間でクレジットカード1枚分を…」人は平均すると毎年100,000粒のプラスチックの小さなかけらを摂取しています。重量にすると、1週間で5g、1ヵ月で21g、1年で250gとなります。驚くような数字を示されました。

谷口たかひさ氏は、マイクロプラスチック問題を始めた環境問題とそれらの対策について今の私たちにできることを、豊富なデータを基に解りやすく説明されました。環境問題は、ごみ問題、食の問題、気候変動、生物多様性などすべてが繋がっています。

また、人生に正解はない。先ず自分で考えて行動する。人生の80%の悩みは「人と自分を比べること」と「人の目を気にすること」、自分と他人を比較しない、満点を取るより最善を尽くすことなどを話されました。

講演内容をこれからの日常生活に反映させたいと思っています。

知多ブロック 渡辺順子



はなのきセミナーⅡ



国際交流で平和な世界へ

～身近な多文化共生～ Part2

講師 荻野周子氏・森崎芳子氏

日時：9月16日（土）13：30～14：30

場所：toko+toko=labo 会議室（江南市布袋駅東複合公共施設）



荻野氏：18年間で14か国44人の留学生を受け入れた。家族の一員として公平に接し、日本文化や生活習慣を体験させた。ベトナム人のフックはポートピープルとしてアメリカで育った。岡崎の実家によく行った。30年後にシアトルで再開した時お母さんと呼んでくれた。インド人のフィリップはまだ使えるごみの多さを指摘した。日本の短期大学の学長になっている。ムンバイから来たトマスには国府宮に奉納する餅つきを体験させた。アメリカ人ジョンはよく食べよく勉強し、日本のあいまいな習慣は通じなかった。ドイツの外務省から来たブリッタは外交官の卵だった。国際問題を起こさないようにした。驚きや発見、楽しさ、喜びを分かち合えた。心に国境はない。皆、地球家族である。❤️❤️❤️

森崎氏：日本に来ていたビンドウ氏に会いバングラの教育支援をする事になった。スラム街にあるチャンバラ地区の貧しさを初めて目の当たりにした時は衝撃を受けた。最初に校舎を建て、現在は3棟になった。男性中心の社会で買い物も男性、女性は家の中で生活し、早婚が多い。女性の自立を目指し縫製の技術を支援した。フェアトレードで手作りの民芸品などを日本で販売し、収益金を渡している。7年目から里親支援を始めて現在37人、のべ254人を卒業させた。しかし卒業しても仕事がない者がいる。BBESだより22号に書いた記事が現状である。今年度は、11月に若い入会者、市議員など6人が現地を視察する予定である。

尾張ブロック 原藤宏子

第28回 あいち国際女性映画祭 9月15日～18日

9月15日、13：30～ 3作品の上映

「ほどけそうな、息」は児童相談所の若い女子職員が、アルコール依存症で育児放棄の母親を支え、立ち直らせる姿に敬服。

「まだ見ぬあなたに」は女子高校生が予期せぬ妊娠で死のうと。留ませた図書館司書の潤子は内密に出産できる病院へ。そして養子に出すことに。大切な命が守られ安堵した。

「一瞬の樂園」は多額の借金に苦しむベトナムの女子留学生とギャンブル依存性のケンタとの出会いが爽やかであった。

上映後、ゲストの監督と名古屋難民支援室コーディネーターによるシンポジウムでは、日本で暮らす外国人の姿を知り自分に何ができるかを考えるきっかけとなった。

名古屋ブロック 佐藤順子

3日目のフィルム・コンペティション(9月17日、ウィルあいち、午前10時～)に参加。

チケット1枚で4本のアニメ、7本のドラマ、1本のドキュメンタリーが鑑賞できるお得さを受けてか大盛況だった。観客には男性も多く、また映画祭ボランティアにも男性がいて、最初から気分があがった。最初の4本はアニメ作品で、「再会」(韓国)「いずみの声」(日本)は幻想的な美しい光景の中にも女性の生きづらさを描き、性差を意識した視点が良かった。また、ドラマ部門では「樂園」が女子の生理を扱った中国の作品で、日本ではこんな作品は作れないと思うようなリアルさとホラーさでぶっ飛んでいた。

私の最大の楽しみは奥田瑛二氏の講評だったが、会場のイスが硬くて午後4時には限界を迎え、会場をあとにした。その夜、ネットで拝見した奥田氏は白髪で、イケオジだった。

名古屋ブロック 山根みちよ

新入会員紹介



はじめまして。会の活動は共に民生委員で一緒だった松原さんから常々伺っておりました。セミナー等々も参加し、そうした内容を子どもや孫、友人にも話しております。

宜しく願います。

名古屋ブロック 渡辺都江

♥ ウクライナ、オデッサあてに文具を送るため資金カンパに協力。9月、国際小包航空便にて物資を送りました。(東三河ブロック会員より)

はなのきセミナーⅢ

日時：12月23日(土) 14:00～15:30

会場：JICA 中部なごや地球ひろば

セミナールームA

テーマ：防災を通じた共生(仮題)

講師：角田尚章氏(2017年4次隊フィリピン防災・災害対策隊員)

フィリピンでの自身の活動の講演に続き、元JICA 防災専門官近藤ひろ子氏との対談。海外支援から日本在住の外国人に対する防災対策の問題点など、住民レベルの共生について対談予定です。

名古屋ブロック 向井あつ子

『ベアテ・シロタ・ゴードン展』開催 ～男女平等の思いを込めて～

とき：2023年11月3日(金・祭) 午前10時～午後5時

ところ：toko*toko*labo(江南市布袋駅東複合公共施設)

午前10:30 ベアテさんの『涙で生まれた男女平等』憲法秘話上映会

午後1:30 講演 愛知県副知事 牧野利香氏 『女性が輝く社会をめざして』

2:00 パネルディスカッション 神戸洋美氏 愛知県議会議員出演 etc.

ベアテさんとの出会いから26年を経過した現在、若い人たちに彼女の功績をもっと知っていただくためにと企画しました。

ベアテさんの資料はどのように管理されているのか知りたく、2016年はなのき会のスタディーツアーとしてミルズカレッジに訪問しました。大切な資料をアメリカに保管しても日本の女性たちの目に触れることは難しいと考え国立女性教育会館に出向き、日本に納められないかと話し、2019年にヌエックで最初の「ベアテ・シロタ・ゴードン展」が開催されました。今では各地で開催されています。

尾張ブロック 高田朝子

ヌエック会議室にて館長と



(お知らせ)

【地域実践協議会から】

- ・Zoomでの会議開催やGoogleフォームでのアンケート集計等ができるよう技能研修をする。
- ・愛知県男女共同参画の集い：10月23日(月曜日) 午後1時30分から午後4時10分、ウィルあいち表彰式・愛知県女性団体連盟加盟団体の活動発表・講演
- ・ウィルあいちフェスタ開催：12月9日(公財)あいち男女共同参画財団

【環境問題研究会】11月12日(日) 13:00～ウインクあいち 第7回あいち海上の森フォーラム2023開催

「次世代に里山をどこまで残せるか」など講演～ご参加ください。

【名古屋ブロック会】10月21日(土) 13:30～長谷川友子さんの講演会 場所：国際プラザ団体交流室(大)

編集後記：猛暑が過ぎ秋の深まりにほっとする今日この頃です。北極圏の氷河氷床の現状、森林火災、プラスチック問題など、セミナーで学ぶことにより以前にも増して自分事になってきました。またスタディーツアー再開にワクワクしながら準備を進めています。(書記)